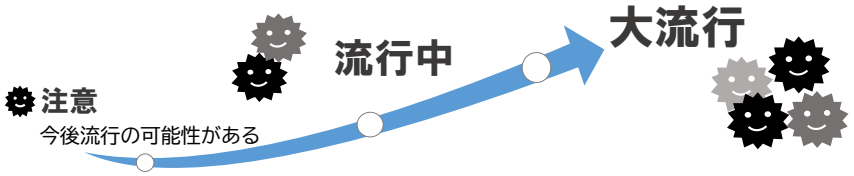
2025年
6月号
横浜市
衛生研究所

感染症に気をつけよう

今月の感染症流行状況



疾患名	流行状況	説明
感染性胃腸炎	流行中	穏やかな減少傾向から再び増加 患者数が多い状態が続く
伝染性紅斑 (リンゴ病)	流行中	昨年6月頃よりの増加傾向が継続 患者数が多い状態が続く
百日咳	患者数急増	患者数の増加が依然として続く 0歳児の罹患も報告あり
梅毒	流行中	10歳代～60歳代の幅広い年齢層の 報告が多い、引き続き注意が必要

今月のトピック　百日咳が増え続けています！

特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする感染症です

01 重症化に注意してください

・かぜ症状で始まり、発熱することは少なく、次第に咳の回数が増えて激しい咳になります
・乳児期早期では、無呼吸発作から

チアノーゼ
顔色や唇、爪の色が紫色に見える状態

けいれん

呼吸停止

と進展することがあります

02 予防策

生後2か月からの5種混合ワクチン接種も有効です！

＼流水と石けんで／

手洗い

＼定期的に／

換気

＼可能な範囲で／

咳エチケット

受診に迷ったら＃7119（かながわ救急相談センター）へ相談を

横浜メディカルダッシュボード

横浜市感染症情報センター 6月16日発行